

Genew「衛生」講座一覧

【衛生<健康>】

動画	内容
健康01 保健統計1	・集団の健康と疾病の現状及びその影響要因を把握する上での人口統計の意義 ・人口統計（年齢3区分別人口）に関する指標
健康02 保健統計2	・集団の健康と疾病の現状及びその影響要因を把握する上での人口統計の意義 ・人口統計（死亡）に関する指標
健康03 保健統計3	・健康と疾病の概念の変遷とその理由 ・人口統計（死亡）に関する指標（平均余命等）
健康04 保健統計4	・人口統計（出生）に関する指標 ・傷病統計に関する指標 ・人口動態（死因別死亡率等）の変遷
健康05 疫学1	・疾病の予防における疫学の役割 ・疫学の三要因（病因、環境要因、宿主要因） ・疫学の種類（記述疫学、分析疫学、介入研究）とその方法
健康06 疫学2	・分析疫学の種類とその方法
健康07 疫学3	・リスク要因の評価（相対危険度、寄与危険度及び信頼区間等）
健康08 疫学4	・リスク要因の評価（オッズ比、信頼区間等）
健康09 健康と疾病の概念-疾病の予防	・健康と疾病の概念の変遷とその理由 ・疾病の予防（一次、二次、三次予防） ・健康増進政策（健康日本21等）
健康10 感染症1	・現代における感染症（日和見感染、院内感染等）の特徴 ・感染症法における感染症とその分類
健康11 感染症2	・現代における感染症（新興感染症、再興感染症等）の特徴
健康12 感染症3	・代表的な性感染症とその予防対策 ・母子感染する代表的な疾患とその予防対策
健康13 感染症4	・予防接種の意義と方法
健康14 生活習慣病1	・生活習慣病の種類とその動向 ・生活習慣病の代表的なリスク要因とその予防法 ・食生活や喫煙等の生活習慣と疾病の関わり
健康15 生活習慣病2	・食生活や喫煙等の生活習慣と疾病の関わり (メタボリックシンドローム、特定健康診査及び特定保健指導等)
健康16 母子保健	・新生児マスキリーニングの意義と代表的な検査項目 ・母子感染する代表的な疾患とその予防対策
健康17 労働衛生	・代表的な労働災害、職業性疾病 ・労働衛生管理
健康18 タンパク質の栄養価	・食品中のタンパク質の栄養的な価値 (生物価、正味タンパク利用率、アミノ酸スコア等)
健康19 エネルギー代謝	・エネルギー代謝に関わる基礎代謝量、呼吸商、推定エネルギー必要量の意味
健康20 食事摂取基準	・日本人の食事摂取基準
健康21 食品変質1	・炭水化物、タンパク質が変質する機構 ・食品の変質を防ぐ方法（保存法）
健康22 食品変質2	・油脂が変敗する機構及び油脂の変質試験
健康23 食品成分由来の発がん物質	・食品成分由来の発がん性物質とその生成機構
健康24 食品添加物	・代表的な食品添加物の用途 ・代表的な食品添加物の働き
健康25 保健機能食品	・特別用途食品と保健機能食品
健康26 食品法規制	・食品衛生に関する法的規制（食品衛生法、食品安全基本法、食品表示法等）
健康27 食中毒1	・代表的な細菌性食中毒の列挙 ・代表的な細菌性食中毒の病因の性質、症状、原因食品及び予防方法 (黄色ブドウ球菌食中毒、腸炎ピブリオ食中毒、サルモネラ食中毒、カンピロバクター食中毒等)
健康28 食中毒2	・代表的な細菌性食中毒の列挙 (腸管出血性大腸菌食中毒、ウェルシュ菌食中毒、ボツリヌス食中毒、サルモネラ食中毒等) ・ウイルス性食中毒の列挙 ・代表的な細菌性・ウイルス性食中毒の病因の性質、症状、原因食品及び予防方法
健康29 食中毒3	・食中毒の原因となる代表的な自然毒 ・食中毒の原因となる代表的な自然毒の原因物質、作用機構、症状の特徴
健康30 食中毒4	・カビによる食品汚染の具体例 ・カビによる食品汚染がヒトの健康に及ぼす影響

【衛生<環境>】

動画	内容
環境01 第Ⅰ相反応	・代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセス
環境02 第Ⅱ相反応(前編)	・代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセス
環境03 第Ⅱ相反応(後編)	・代表的な有害化学物質の吸収、分布、代謝、排泄の基本的なプロセス
環境04 農薬	・代表的な農薬の急性毒性、慢性毒性
環境05 金属	・化学物質(重金属等)による食品汚染の具体例 ・化学物質(重金属等)による食品汚染がヒトの健康に及ぼす影響 ・代表的な有害化学物質(重金属等)の急性毒性、慢性毒性
環境06 ダイオキシン類	・代表的な有害化学物質(PCB、ダイオキシン等)の毒性
環境07 有機溶剤1	・代表的な有害化学物質(有機溶媒等)の毒性
環境08 有機溶剤2	・代表的な有害化学物質(アルコール、シアン、アスベスト、一酸化炭素等)の毒性
環境09 生体防御因子	・重金属や活性酸素による障害を防ぐための生体防御因子
環境10 薬物乱用1	・代表的な中毒原因物質(乱用薬物を含む)の試験法 ・薬物の乱用による健康への影響(コカイン、LSD、サイロシン、大麻成分等)
環境11 薬物乱用2	・薬物の乱用による健康への影響(MDMA、覚醒剤等)
環境12 解毒薬	・代表的な中毒原因物質の解毒処置法
環境13 毒性試験1	・毒性試験の結果を評価するために必要な量-反応関係、閾値、無毒性量(NOEL)等 ・化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量等)
環境14 毒性試験2	・化学物質の安全摂取量(1日許容摂取量等)
環境15 化審法1	・有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法)
環境16 化審法2	・有害化学物質による人体影響を防ぐための法的規制(化審法、化管法等)
環境17 発がん1	・発がんに至る過程(イニシエーション、プロモーション等)
環境18 発がん2	・発がん性物質等の代謝的活性化の機構 ・発がん性物質等の列挙とその反応機構
環境19 遺伝毒性試験	・遺伝毒性試験(Ames試験等)の原理
環境20 非電離放射線	・非電離放射線(紫外線、赤外線等)の列挙 ・非電離放射線(紫外線、赤外線等)の生体への影響
環境21 生態系1	・生態系の構成員の列挙 ・生態系の構成員の特徴と相互関係
環境22 生態系2	・生態系の構成員の列挙 ・生態系の構成員の特徴と相互関係 ・化学物質の環境内動態(窒素循環)
環境23 生態系3-環境破壊1	・化学物質の環境内動態(生物濃縮等) ・人が生態系の一員であることを踏まえた環境問題の概説
環境24 環境破壊2	・地球規模の環境問題の成因、人に与える影響 ・地球環境の保全に関する国際的な取り組み
環境25 環境法規制	・典型七公害とその現状及び四大公害 ・環境基本法の理念 ・学校保健安全法及びこれに基づく法令で規定されている学校薬剤師
環境26 浄水法1	・原水の種類とその特徴 ・水の浄化法、塩素処理(緩速ろ過システム、急速ろ過システム、塩素消毒の原理等)
環境27 浄水法2	・水の浄化法、塩素処理(塩素要求量、塩素消費量等)
環境28 浄水法3-水道水試験法1	・水の浄化法、塩素処理 ・水道水の水質基準の主な項目(亜硝酸態窒素及び硝酸態窒素等)
環境29 水道水試験法2	・水道水の水質基準の主な項目とその測定法(硬度、大腸菌、一般細菌、塩化物イオン等)
環境30 水道水試験法3	・水道水の水質基準の主な項目とその測定法(DPD法等)
環境31 下水処理法	・下水処理及び排水処理の主な方法
環境32 水質汚濁1	・汚濁負荷量の算出 ・水質汚濁の主な指標とその測定(DO等)
環境33 水質汚濁2	・水質汚濁の主な指標 ・水質汚濁の主な指標の測定法(BOD、COD等)
環境34 水質汚濁3	・環境基本法の理念 ・水質汚濁を防止するための法規制 ・水質汚濁の主な指標
環境35 富栄養化	・富栄養化の原因 ・富栄養化によってもたらされる問題点とその対策
環境36 大気汚染1	・大気汚染を防止するための法規制 ・主な大気汚染物質の列挙 ・主な大気汚染物質の推移と発生源、健康影響(硫黄酸化物、窒素酸化物等)
環境37 大気汚染2	・主な大気汚染物質の列挙 ・主な大気汚染物質の推移と発生源、健康影響(一酸化炭素、浮遊粒子状物質、光化学オキシダント等)
環境38 大気汚染物質測定法	・主な大気汚染物質の測定法
環境39 逆転層-室内環境1	・大気汚染に影響する気象要因(逆転層等) ・室内環境を評価するための代表的な指標とその測定法(感覚温度、補正感覚温度)
環境40 室内環境2	・室内環境を評価するための代表的な指標とその測定法(気温、気湿、気動、カタ冷却力等)
環境41 室内環境3-室内汚染物質	・室内環境と健康との関係(必要換気量、換気回数、シックハウス症候群、化学物質過敏症等)
環境42 廃棄物	・廃棄物の種類と処理方法 ・廃棄物処理の問題点とその対策 ・マニフェスト制度